

C-13 ユニホームに関する調査研究 (III)  
——色の傾向とその堅牢度について——

愛知三河繊維試 〇志満津発司  
岐阜大教育 中野 刀子  
椋山女学園大家政 加藤 雪枝  
椋山 藤子

1. ユニホームの色彩意匠は、それを着用する人々にとって、もっとも関心の深いものであると思われる。そこで筆者らは職場のユニホームについて、色の傾向と消費効果を追求し、実用価値があり、しかも美しいユニホーム創作の資料とするため本研究を行なった。

2. 実態調査にもとづいて工場から蒐集したものと市販されているユニホームを試料とし、分光光度計により色の測定を行ない、3刺激値を求めた。さらに日光堅牢度、洗たく堅牢度、色の変退色の状態を分光曲線、色差などによる色彩傾向をJIS法により検討した。

3. ユニホームの色は調査結果によれば、必ずしも満足されたものではなく、今後改良の余地が認められた。市場にあらわれている色数は相当多いのにもかかわらず、実際使用されている色は数種にかぎられ、嗜好や流行はあまり生かされていない。

色の堅牢度については相当堅牢なものが使用されていることがわかった。しかし白には問題があり、今後白に変る着色堅牢度のある布の応用により、もっと女性に適

此工本亦在材料方面节省已为望外。